

別記  
第1号様式（第14条関係）

### 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	令和4年 7月 27日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 〒 620-0853 京都府福知山市長田野町1丁目48番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社G Sユアサモールディングス 代表取締役社長 小倉 祥司
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	I S O 1 4 0 0 1
適 用 範 囲	京都長田野工場
導 入 年 月 日	平成16年 1月 9日
認 証 番 号	J Q A - E M 3 6 6 6
基 本 方 針	原材料やエネルギーの効率的な利用と資源のリサイクル並びに環境汚染の予防、地域及び地球環境の保全に努め、継続的な改善を図る。また、法、条例、協定などの環境規制を順守する事はもとより、当事業所が同意したその他の要求事項を順守し、自主管理基準を設定して環境管理レベルの向上を図ります。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	① 生産工程の歩留まりを向上させる（仕損じ費率の低減）。 ② 工程の効率化を実施する。 ③ 全従業員への環境意識を向上させて環境管理活動を推進する。
目標を達成するための取組の内容	日々の工程監視及び管理の強化、多発不具合要因の未然予防及び顕在化した不具合の迅速な処置と維持改善を各部署のEMP及び各階層へ業務展開を行う。省エネに関する改善提案を工場全体で3件以上実施する。全従業員の環境に対する意識を高めるための全員参加型の貢献活動（工場周辺・構内のクリーンアップ）を実施する。
目標を達成するための取組の進捗状況	① 生産工程の歩留まりを向上させる（仕損じ費率の低減）については三部門で取り組む。 その他は各部門ごとで環境管理プログラムにて進捗を管理し、その進捗状況について毎月環境管理会議にて経営者へ報告し、その指示を受ける。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	リチウム部門の仕損じ費率においては目標達成。成形部門、セパ・膜部門においては上期不良多発のため、下期で不良低減活動に取り組んだが、目標未達成となった。工程改善については全体で3件を実施し計画通り完了した。また全員参加型の活動についても2回/年度実施し目標を達成した。
事業活動に係る法令の遵守の状況	ISO14001のシステム上は適時関連部署にて届出、報告等を実施し、環境管理責任者が年3回（3月・6月・10月）順守状況を確認し経営者への報告を実施。現状では届出及び報告事項を含め適正に実施している。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	2021年12月 ISO14001：2015更新審査を受審し、マネジメントシステムが有効であると判定された。環境方針等の変更はなし。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。